科学研究費助成事業（基盤研究（Ｓ））研究進捗評価

課題番号	15H05725	研究期間	平成２７年度～平成３０年度
研究課題名	仏教学新知識基盤の構築―次世代人文学の先進的モデルの提示	研究代表者 （所属・職） (平成29年3月現在)	下田　正弘（東京大学・大学院人文社会系研究科・教授）

【平成２９年度　研究進捗評価結果】

評価		評価基準
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	A－	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である

（意見等）

本研究の主要課題である、仏教学研究の知識基盤の構築とその拠点づくり等は、順調に進んでいる。まず、大蔵経テキストデータベース(SAT-DB)の拡充と更新が着実になされ、それを基軸にした国際的研究交流やテキスト構造化の精緻化事業が、確実に成果を上げている。とりわけ、大正蔵の膨大な図像の電子画像化は、データアーカイヴ拡充に大きく寄与した。海外の研究機関との新規連携も拡大し、研究成果の国際発信や国際的諸集会の開催も頻繁に行われており、国内のみならず諸外国への学術的波及効果も甚大である。デジタル技術を人文学へ応用する「人文情報学」の、しかも東西の壁を超えた先駆的モデルとして、今後も研究成果を上げることを大いに期待する。